

Academic

成績通知書の確認方法

同封しています成績通知書の
確認方法についてお知らせいたします。

履修 年度	期間	科目名(クラス)	単位	成績	担当者名
		必修科目(28単位)		①	
2016	春学期	スポーツ健康科学論入門	2	A	
2016	秋学期	スポーツ生理学	2	D	
2017	春学期	基礎実習	2	B	
2017	春学期	ファースト・イヤー・セミナー	2	A	
2017	春学期	スポーツ社会学	2	B	
2017	春学期	生理学	2	F	
2016	春学期	スポーツ・パフォーマンスI-115	1	A	
2016	秋学期	スポーツ・パフォーマンスI-611	1	A	
		選択科目A～E群(48単位以上)			
		(選択科目A群(6単位以上))			
2016	秋学期	スポーツ政策論	2	A	
2017	春学期	スポーツ運動学	2	A	
2017	春学期	トレーニング論	2	C	
2016	秋学期	健康運動論	2	B	
****	秋学期	スポーツ教育学	2		
		(選択科目B群(22単位以上))			
2017	秋学期	スポーツ医学A(内科系)	2	A	
2017	春学期	スポーツ医学B(外科系)	2	B	
2017	秋学期	生活習慣病概論	2	中止	
2017	春学期	発育発達と老化	2	B	④
****	秋学期	スポーツ栄養学	2		
		(選択科目D群)			
XX16	春学期	スポーツ健康科学のための自然科学入門	2	F	
2017	春学期	スポーツ健康科学のための自然科学入門	2	C	
2017	春学期	生物学	2	F	

履修
年度

期間

科目名(クラス)

単位

成績

担当者名

②

2016 春学期 心理学Ⅰ

***** 秋学期 心理学Ⅱ

③

《英語(8単位以上)》

2016 春学期 コミュニカティブ・イングリッシュⅠ-422

2016 秋学期 コミュニカティブ・イングリッシュⅡ-322

2016 春学期 アナリティカル・リーディングⅠ-265

2016 秋学期 アナリティカル・リーディングⅡ-265

2017 春学期 イングリッシュ・セミナーⅠ-546

***** 秋学期 イングリッシュ・セミナーⅡ-320

2017 春学期 イングリッシュ・ワークショップⅠ-354

***** 秋学期 イングリッシュ・ワークショップⅡ-503

《英語以外(4単位以上)》

2016 春学期 中国語入門Ⅰ-2

2016 秋学期 中国語入門Ⅱ-5

参考

2017年度春学期終了時点での
各学年の修得単位
ならびにGPAの平均値

1年次生： 19.8単位 GPA 2.37

2年次生： 59.0単位 GPA 2.36

3年次生： 93.6単位 GPA 2.46

4年次生： 116.2単位 GPA 2.51

⑤

①〈評価評点判定〉

A : 4.0 (特に優れた成績を示した)
B : 3.0 (優れた成績を示した)
C : 2.0 (妥当と認められる成績を示した)
D : 1.0 (合格と認められる最低限度の成績を示した)
F : 0.0 (合格と認められるに足る成績を示さなかった)

〈GPA算出式〉

各成績評価段階に4.0～0.0の評点(Grade Point)を付与して、1単位あたりの評点平均値=GPA(Grade Point Average)を算出します。

② それぞれの科目を履修した年度です。

③ 現在登録中の科目です。(成績評価欄は空欄になっています)

④ 1ヶ月程度授業を受講し、望ましい評価が得られないと本人が判断して、履修を中止した科目です。この場合GPAには算入されません。

※上記の成績通知書はこの誌面用に作成したものです。実際のものとはサイズ等異なります。

同志社大学 成績通知書

学部 スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科

学籍番号 2016年度(2年次) 999番

氏名 ドウシシャ タロウ
同志社 太郎 男

生年月日 19XX 年 (平成 X 年) 1 月 1 日生

学生ID: 1F16XXX 発行年月日: 201X/X/X

学 籍 に 関 す る 事 項									
本人住所		〒10							
父母氏名		続柄							
父母住所		〒11							
学籍異動	異動種別	異動年月日			異動事由				
	入学	2016年4月1日							
備考									
単位修得数									
種別	卒業必要 単位数	修得数			種別	卒業必要 単位数	修得数		
		科目	単位				科目	単位	
必修 基礎科目	14	5	10		選択D 群				
SP 1	2	2	2		選択E 群				
必修 演習科目	14				選択F 群	28 以上	9	12	
卒業研究 A・B	6				教養関連	16 以上	1	2	
					英語	8 以上	6	6	
					英語以外	4 以上	2	4	
選択科目	96 以上	25	40						
選択 A～E	48 以上	16	28						
選択 A 群	6 以上	4	8		合計	124	41	52	
選択 B 群	22 以上	8	16		自由科目				8
選択 C 群	6 以上	4	4		免許・資格関係科目				
					必・選 A～E 40 単位 2.88				
直近学期 GPA 2.71					累計 GPA 2.98				

⑤ 合格評価で書き換えられた不合格評価であることを示します。F評価を取得した科目で、再履修し、D以上の評価を得ることができれば、最初のF評価はGPAに算入されません。

⑥ 単位修得表内の必修科目欄(表左上部の4項目)について、「SP1」ならびに「卒業研究A・B」については各科目の修得状況を独立して記載するとともに、それぞれ「必修 基礎科目」、「必修 演習科目」にも含めて記載しております。(記載例の場合、必修 基礎科目として修得した10単位の中にSP1の2単位も含めて記載しています。)

⑦ 選択科目B群で卒業に必要な22単位のうち、16単位を取得している。

⑧ 在学期間中に修得した単位数を示します。卒業に必要な124単位のうち、52単位を取得している。

9 在学期間中に修得したGPAを示します。

⑩ 本人住所の変更は、学生がDUETを通じて行うことができます。

① 父母住所の変更は、学生が窓口を通して行うことができます。

母から子へ、子から母へ

毎号、スポーツ健康科学部の一組の親子をご紹介します。

母から子へ

母・川上文美さん

佳祐。あなたはこの二十一年をどう感じていますか？

私はあなたのお陰で、華やかで充実した日々を送らせて貰いました。そして、あなたの優しさ、頑張りにより「力」を貰い続けた二十一年でした。

覚えていますか？小学校五年生の夏、お姉ちゃんがおストラリアに旅行していた時のことを。旅先で夕食にステーキが出た時、あなたは突然食事の手を止めて「真由、向こうでこんな美味いお肉食べれやんのやろ？可哀想やから食べれやん」と言ったのですよ。あの時の表情は一生忘れられません。そして、今も目配り、気配りをしてくれるあなたはあの頃と変わらませんね。

剣道を始めて十三年。小中高と全国大会に出場し、国体四位入賞と華々しい結果を残してくれました。でも、その陰には人知れぬ努力があった事でしよう。中学受験と全国大会へ向けての強化練習が重なった時も、私は「頑張れ」しか言えなくて、それでもあなたれは小さい体で乗り切りましたね。高校

は、進学校ならではの「温度差」にしみ、勉強を取るか、剣道を取るかにジレンマに苦しみました。でも、自分の軸を曲げることなく貫いたあなたでよかったです。大学では、強豪校選しかつたです。先ずは、優秀な選手が集まる中で、先ずは、ギューラを取りることが目標でした。そして、次の目標、個人・団体両方での全日本学生出場も果たし、私を念願の日本武道館へ連れて行ってくれました。強豪、筑波大学との団体戦。負けましたが、あなたの打ち放った面いい面でしたよ。

たくさんさんの試練を乗り越え、歩んできた道は、きっとこれからの生きる糧となるでしょう。ここまで歩いて来られたのはたくさんの方々の支えがあったからです。感謝の気持ちを忘れず、謙虚に生きてくださいね。そして何よりも、ここからの人生を目一杯楽しんで下さい。

これまであなたがくれた素敵な時間、本当に私は幸せ者です。

子から母へ

子・川上佳祐さん

母への手紙というのですが、こういったことをした経験がなく、照れくささを感じています。しかし、せっかくこのような機会を頂いたので、今まで中々伝えられなかった感謝の気持ちを伝えます。

小学校時代、私は姉を追いかけて水泳・ピアノ・英会話・そして剣道を始めました。もちろん私の意志で始めたことでしたが、周囲の子達と遊ぶことも叶わず、辞めたいと思ったことが多々ありました。また、自分なりに頑張っていたものの、姉のように結果を出すことができず感情的になったこともありました。そんな時、お母さんは楽な道を示さず、「頑張り」といつも私を鼓舞してくれましたね。当時はその言葉にも奇立ちを感じ、素直に母さんの思いを受け取ることができませんでした。しかし今思えば、あの時諦めずに努力することを教えてくれたおかげで、今の自分があるんだと思います。

最近は就職活動のことでたくさん話

を聞いてもらい、支えてもらいました。中々思うようにいかず、電話をかけては愚痴を言い、時には口論にまで発展したこともありましたね。第一志望の企業に進めず、初めは本当に落ち込みましたが、お母さんとのやり取りを通して、内定を頂いた企業で頑張ろうと前を向くことが出来ました。

今こうして振り返れば、辛いこともたくさんありましたが、乗り越えてこられたのはお母さんの支えがあったからです。「頑張り」の一言が私を奮い立たせ、成長させてくれました。こんな言葉だけでは到底感謝の気持ちを伝えきれませんが、「本当にありがとう。」親孝行になるかはわかりませんが、今まで応援し続けてくれた剣道で、もう一度日本武道館に連れていきます。絶対に今秋の大会で結果を出すので楽しみにしていってください。

来春からは私も社会人。今度は私がお母さんを支えていきます。だから体に気を付けて元気でいてください。



2017教員父母連絡会総会レポート

5月27日(土)、恵道館201教室において、2017年度教員父母連絡会総会が開催され、教員を含む約110人のご参加をいただきました。恒例となった総会前のイベントにも多数のご参加をいただき、ご子弟の学びの環境について理解を深めていただく好機会となりました。

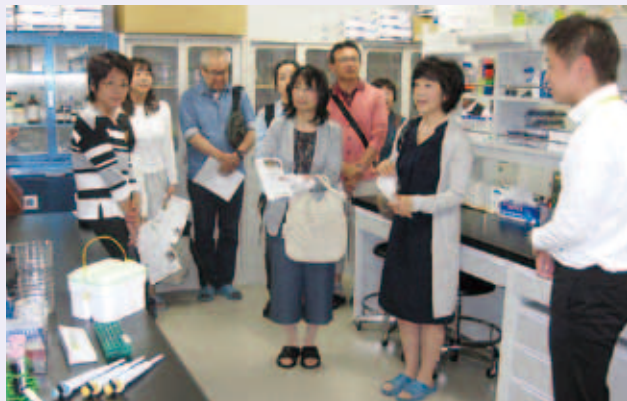
今年も盛況の見学ツアー

総会に先立ち、午前10時30分から12時まで、ご父母を対象としたイベント「スポーツ健康科学部父母体験会」を開催しました。「磐上館見学ツアー」では、分子生物学実験室、運動生理学実験室Ⅱ、運動処方実験室等の見学後に屋外施設や総合体育館であるデイヴィス記念館を見学しました。これと併行して、磐上館3階にある多目的実習室では、石倉忠夫教授、中村康雄教授、竹田正樹教授、上林清孝准教授によるご父母との個別面談も実施され、ご子弟の留学、成績、就職などを中心とした相談が行われました。

磐上館見学ツアーでは、ツアーガイドを数名の大学院生が担当しました。鈴石直樹さん(博士課程前期1年)は「自分が学んだ経験を交えて、この学部の魅力を伝えたい」と語り、真摯な

姿勢でご父母を引率していました。

最初は、高倉久志助教の案内で分子生物学実験室を見学。実験動物や培養細胞を使用して、持久的トレーニングを行ったとき筋肉へのトレーニング効果やその効果が得られる仕組みについて検証するという、実験内容が説明されました。



続いて、ニューメキシコ大学の学生との交流が行われていた教室などを見学した後、運動生理学実験室Ⅱを海老根直之准教授が紹介しました。ここで

は代謝測定関連の高度な装置が特徴で、「ヒューマンカロリメーター」と「環境制御室」を備えた「人工気象サプシステム」が、ご父母から大きな注目を集めました。ヒューマンカロリメーターは、内部に滞在する対象者の消費カロリー量を自動計測する装置で、世界最高水準の分析機器で構成され、西日本では同志社大学が最初に導入したものです。環境制御室は、温度、湿度、酸素濃度などをコントロールし、あらゆる季節や標高の環境を再現できる装置です。これらの装置を学部生全員が授業で利用しているのは、日本では同志社大学スポーツ健康科学部だけという説明に、ご父母の方々は満足げにうなずいておられました。



運動処方実験室では石井好二郎教授が、体重負担を軽減するトレッドミル



を解説しました。現在の設備のプロトタイプを、マラソンの野口みずき選手が、疲労骨折からわずか3ヶ月後に使用して走ったというエピソードも紹介されました。

館内ツアーの後は、屋外の競技場と総合体育館を見学。広大な敷地に設けられたラグビー場や陸上競技場など多数のグラウンドを観ながら、参加者からは「まるで一つの町みたい」という感嘆の声が上がりました。ツアーの全行程を終えたご父母からは「施設の充実ぶりが分かって良かった」「理論研究だけでなく、トップアスリートが施設を実際に活用しているなど、実践でのレベルの高さも知ることができた」などのご感想をいただき、3年次生の

ご子弟を持つご父母は「初参加だが子どもの学びの場が分かって安心した」と、笑顔を見せてくださいました。

総会議事は満場一致で承認

総会は13時30分に始まり、最初に岩田勝成教員父母連絡会会長から、学生へのさらなる支援を呼びかけるご挨拶がありました。続いて柳田昌彦学部長がご父母からのご支援、ご協力に対して感謝を述べ、スポーツ健康科学部の10年間の歩みを振り返るとともに、学部生の現況を報告しました。その中で、同志社大学全学部の1年次生に対して行われたアンケートの結果を引用

しながら、本学部の1年次生は非常にクラブ・サークル活動に熱心であること、効率的に授業を受けて内容を身につけていること、リーダーシップ能力が非常に高いことなどを紹介。スポーツおよび健康の新時代を担うエキスパートの輩出に向けて今後も取り組む姿勢を明らかにし、ご父母へ一層のご支援を訴えました。

2016年度の事業報告の後は議事に移行し、2016年度決算、監事報告、2017年度事業計画(案)同予算(案)、同役員(案)が審議され、原案通り承認されました。

総会終了後は14時30分より学部報告

最新情報が紹介された就職活動セミナー

その後は株式会社マイナビの丹下春恵様(大阪キャリアサポート1課 課長)による、ご父母に向けた就職活動セミナーを開催しました。「近年の就職環境」「求められる人材」「保護者としての支援」の3点について具体的な資料をもとに講演が行われ、ご父母は熱心に聴き入っておられました。

まず近年の就職環境については、ここ数年、就職活動のスケジュールが大きく変化していることを説明。現3年次生の就職活動は、スタートと同時に行動期に突入する超短期決戦であることや、現在の1、2年次生の就職活動スケジュールは予測が難しいため、毎年キャリアセンターなどで情報収集が

必要であることなどをアドバイスしてくださいました。

企業に提出するエントリーシートについても、近年の傾向が分析されました。応募者がどのような人間なのかを、企業が具体的に問う内容が増えていることが紹介され、3年次生であれば来年の3月までに大学で多様な経験を蓄積し、それらを整理すること、仕事や社会についても情報収集を続け、社会および社会人に触れる機会を増やすことの必要性を話してくださいました。現1、2年次生は3年次生までに経験量と内容を増やし、思考する癖をつけて自分の意見を持つことが重要であるというお話をいただきました。

企業が求める人材には「主体性」と「実行力」という資質が最重要であり、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」などの「社会人基礎力」を今から培っておくことが必要であるというお話でした。そのためにぜひ必要なのが、ご子弟に対するご父母の支援であり、特に重要なのが精神的支援であることが強調されて、セミナーは終了しました。その後は、日糧館にあるレストラン「アマーク・ド・パラディ・ラッテ」において懇親会が開かれ、なごやかな雰囲気の中、ご父母と教員との間で歓談の時間が持たれました。

ご父母の皆さまのご協力により、本年度の総会および関連行事が盛会裏に終わりましたことを感謝申しあげます。ありがとうございました。



スポーツ健康科学部生の活躍

(個人記名の記事から主要戦績を抜粋)

【陸上競技部】

◎第81回京都学生陸上競技選手権大会
走高跳／2位…白男川歩(スポ4)
砲丸投／1位…大矢崇明(スポ4)
100mH／2位…柴田紗希(スポ3)
100m／2位…長岡義樹(スポ4)
走幅跳／3位…高橋克毅(スポ4)
400mH／2位…六反田実優(スポ2)
棒高跳／1位…川間羅聖(スポ3) 3位…西崎愛理菜(スポ3)
800m／2位…山崎菜月(スポ4)
◎第94回関西学生陸上競技対校選手権大会
砲丸投／1位…大矢崇明
10種目競技／3位…別宮拓実(スポ2)
女子10000mW／2位…杉山智香(スポ2)
男子10000mW／2位…持田顕人(スポ2)
400mH／2位…六反田実優
走高跳／3位…境内航(スポ4)
◎第70回西日本学生陸上競技対校選手権大会
走高跳／2位…境内航
女子10000mW／1位…杉山智香
男子10000mW／3位…持田顕人
400mH／1位…六反田実優
【柔道部】
◎関西学生女子柔道体重別選手権大会
63kg級／準優勝…畠中理華子(スポ3)
【カヌー部】
◎2017年度全日本学生カヌー選手権大会
K12200m／優勝…村野武広(スポ2)・木村大翔(スポ1)
WK12200m／優勝…山本結花(スポ4)・宍戸美華(スポ3)
WK12500m／準優勝…山本結花・宍戸美華
JKW11500m／準優勝…岡嶋彩(スポ1)
JC11500m／3位…太田向柊(スポ1)
WK11Relay4x500／準優勝…渡邊えみ里(スポ3)・五十嵐結衣(スポ2)・山本結花・宍戸美華

■各種奨学金について

スポーツ健康科学部では、学術・文化、スポーツ活動等において優れた成果をあげ、かつ、学業、人物共に優秀な学部学生に対して奨学金を給付します。これらの奨学金はすべて応募形式になっており、2017年度の募集は次のとおりでした。

【奨学金の種別(公募の部)】

同志社大学育英奨学金
人数…学部部門1名

正課外部門全学で20名以内

金額…年額30万円

スポーツ健康科学部奨学金

人数…4名 金額…年額10万円

教員父母連絡会奨学金

人数…8名以内 金額…年額5万円

【出願方法】

・出願資格

大学入学後、スポーツ、文化・芸術社会貢献、地域活動、ボランティアなどにおいて優れた成績(功績)を残し、現在もその活動を継続している者。

◎競技や各種活動における優れた成績(功績)を客観的に証明する資料

願書提出時に証明書類の原本持参。

*1枚の願書提出で、3種類全ての奨学金の申請を兼ねています。

・募集時期

2017年10月16日(月)～30日(月)

新人大会 JKW12500m／準優勝…山脇耕奈乃(神1)・岡嶋彩

C141000m／3位…川嶋航大(社3)・矢野優太(スポ3)・平井飛勇(スポ4)・亀谷智哉(スポ4)

WK14500m／3位…宍戸美華・山本結花・五十嵐結衣・渡邊綾子(経2)

◎平成29年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会

C111000m／3位…橋本将都(スポ4)

C121000m／優勝…橋本将都・小梶孝行(株式会社たねや)

C11500m／準優勝…橋本将都

C12500m／優勝…橋本将都・小梶孝行

C12200m／準優勝…橋本将都・小梶孝行

WK12200m／優勝…山本結花(スポ4)・田中香奈(鹿屋体育大)

【フィギュアスケート部】

◎2017年USインターナショナルクラシック(国際大会)

5位…友野一希(スポ1)

【空手道部】

◎第51回関西学生空手道個人選手権大会

女子個人形／優勝…清水那月(スポ2) 3位…住友優里(スポ3)

男子個人形／準優勝…西山走(スポ4)



・提出場所

京田辺キャンパス教務センタースポーツ健康科学部担当(京田辺キャンパス/成心館1階)

■「地方懇談会(東京)」のご案内

当日は、学部教員、および教員父母連絡会父母役員が伺います。近隣地域にお住まいの方、総会にご出席できなかった方等、良い機会かと存じますので、ぜひご参加ください。

つきましては、参加を希望される方は、大変お手数をおかけいたしますが、11月13日(月)までに、左記事務局まで、同封のFAXか、あるいはFAX記載事項同内容をEメール、電話のいずれかでお申し込みください。必ず参加人数分お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

【申込先】

電話 0774-65-6030

FAX 0774-65-6029

Eメール it.spoif@mail.doshisha.ac.jp

【日時】2017年11月18日(土)

11時～12時(10時45分受付)

【会場】

(東京)同志社大学東京オフィス

東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階

電話 03-62228-7262

◎第61回全日本大学空手道選手権

男子個人形／優勝…西山走

女子個人形／準優勝…清水那月

◎関西学生空手道オープントーナメント

男子形シニアクラス／優勝…西山走

女子形シニアクラス／優勝…住友優里

男子形ジュニアクラス／準優勝…森田貴文

(スポ2) 3位…津田朋輝(スポ2)

女子形ジュニアクラス／3位…岩本菜穂(スポ2)

女子組手シニアクラス／優勝…高木七奈(スポ1) 準優勝…住友優里



【馬術部】

◎全関西学生馬術大会

複合馬術競技／優勝…縄田雄飛(スポ3)

Mクラス障害飛越競技D／優勝…縄田雄飛

Mクラス障害飛越競技C／2位…縄田雄飛

Mクラス障害飛越競技B／6位…縄田雄飛

◎関西学生賞典総合馬術大会

2位…縄田雄飛

【体操競技部】

◎第49回関西学生体操選手権大会

個人総合／優勝…堀孝輔(スポ1)

◎第67回西日本学生体操選手権大会

個人総合／準優勝…堀孝輔

【水泳部】

◎関西学生チャンピオンシップ水泳競技大会

男子100m自由形／優勝…河野元斗(スポ3)

男子50m自由形／優勝…河野元斗

男子200m平泳ぎ／3位…溝淵雄亮(スポ1)

男子100m平泳ぎ／5位…溝淵雄亮

男子400m個人メドレー／優勝…尾崎友樹(スポ2)

男子200m個人メドレー／5位…尾崎友樹

女子100m自由形／4位…石井千尋(スポ1)

女子50m自由形／2位…石井千尋

女子100mバタフライ／6位…末吉萌(スポ3)

◎関西学生選手権

男子100m自由形／3位…河野元斗

男子50m自由形／3位…河野元斗

男子200m平泳ぎ／3位…溝淵雄亮

男子400m個人メドレー／優勝…尾崎友樹

男子200m個人メドレー／2位…尾崎友樹

女子100m自由形／優勝…石井千尋

女子50m自由形／優勝…石井千尋

女子200mバタフライ／3位…末吉萌

◎日本学生選手権

男子100m自由形／8位…河野元斗

女子200mバタフライ／7位…末吉萌

スポーツアトム編集局

スポーツアトム編集局(体育会情宣機関)では各部活を局員が担当し、日々体育会の活動取材し、紙面やHPにて発信しています。「カレッジスポーツを広めたい」という想いから、全ての作業に全力を注ぎ、これからも活動していきます。詳しくはHPをご覧ください。

<http://www.doshisha-atom.net/>

2016年度 スポーツ健康科学部教員父母連絡会 決算報告書、および2017年度予算

(単位：円)

	項 目	2016年度		備 考	2017年度
		予 算	決 算		予 算
収入	前年度繰越金	¥2,414,380	¥2,414,380		¥3,751,950
	会費(学生分)	¥4,630,000	¥4,537,500	@¥5,000	¥4,680,000
	会費(教員分)	¥110,000	¥110,000	@¥5,000	¥122,500
	会 合 費	¥100,000	¥92,000	¥2,000×懇親会参加者46名	¥100,000
	調 整 勘 定		¥942,814	父母連絡会開設時からこれまでの父母役員並びに教員役員寸志等(2008年度～2016年度)	
	合 計	¥7,254,380	¥8,096,694		¥8,654,450
支出	会 合 費	¥700,000	¥463,994	謝恩会補助、懇親会補助、会議時の弁当湯茶等	¥750,000
	文 具 雑 品 費	¥40,000	¥3,454	封筒、文具等父母会事業に関わる文具雑品購入	¥40,000
	郵 便 料	¥500,000	¥319,604	会報・成績表発送等切手、ハガキ	¥500,000
	賃 借 料	¥0	¥0	懇談会会場賃借料	¥350,000
	謝 礼	¥400,000	¥142,860	役員手当、学生アルバイト謝礼	¥400,000
	一 般 旅 費	¥200,000	¥100,040	地方懇談会会場までの旅費	¥200,000
	交 通 費	¥400,000	¥76,700	役員会会場までの交通費	¥400,000
	印 刷 製 本 費	¥1,700,000	¥1,352,700	会報発行(年2回)、教員父母連絡会専用封筒印刷、卒業アルバム製作費(2016年度卒業記念品)	¥2,250,000
	図 書 費	¥200,000	¥118,444	教員父母連絡会寄贈図書等	¥200,000
	奨 学 金	¥1,500,000	¥900,000	¥50,000×12名 海外フィールドワークに係る奨励金	¥1,700,000
	その他委託費	¥700,000	¥453,600	会報取材・製作者委託費(2回)	¥750,000
	雑 費 (経)	¥200,000	¥5,000	広告協賛金等	¥200,000
	雑 費 (調)	¥714,380	¥348,348	記念品(グッズ)、奨学金証書ホルダー等	¥914,450
	そ の 他 支 出		¥60,000	休学などによる父母会費返金など	
	次年度繰越金		¥3,751,950		
	合 計	¥7,254,380	¥8,096,694		¥8,654,450

キャンパスカレンダー

秋学期	2017年11月 4日(土)	】 同志社クローバー祭	2018年 1月 5日(金)	冬期休暇終了
	5日(日)		6日(土)	講義再開
	5日(日)		23日(火)	創立者永眠の日
	26日(日)	】 スポーツフェスティバル	26日(金)	講義最終日
	27日(月)		27日(土)	期末試験開始
	28日(火)		2月12日(月)	振替休日(試験日)
	29日(水)	】 創立記念行事週間(休講)	16日(金)	期末試験終了
	12月23日(土)		3月上旬	卒業可否発表
			22日(木)	秋学期卒業式・学位授与式(10:00～)
	25日(月)	】 キリスト降誕日(休日)	24日(土)	在学生成績通知書配付
			31日(土)	秋学期終り

教員父母連絡会ホームページ

学部と父母を結ぶホームページです。一度アクセスしてみてください。
<http://sports.doshisha.ac.jp/guardian/overview/overview.html>
●スポーツ健康科学部ホームページ <http://sports.doshisha.ac.jp/>
●同志社大学ホームページ <http://www.doshisha.ac.jp/>

ご意見・ご感想をお寄せください!

連絡会では、ご父母の皆様方からの声を会の運営に生かしていきたいと考えております。
会報への感想および提案、あるいは会の運営方法、企画等、なんでも結構ですので、下記までお寄せください。
同志社大学スポーツ健康科学部教員父母連絡会(スポーツ健康科学部事務室内)
Tel.0774-65-6030 Fax.0774-65-6029 e-mail: jt-spoj@mail.doshisha.ac.jp

神戸医療福祉大学、びわこ成蹊スポーツ大学の教員を経て、今年度よりスポーツ健康科学部助教として着任いたしました。

専門分野は障害者スポーツで、肢体不自由を中心とした障害児・者の運動・スポーツ環境の構築に向けた活動実態の把握(特別支援学校における体育授業、パラリンピアンへの活動実態等)および、その背景にある障害当事者の「障害意識」の検討や、障害者スポーツにおける「健常者」の関わりや障害者との関係性について検討を行っています。

スポーツとは一般的に心身に良い影響を与えるものと考えられています。が、身体に障害をもつ人々にとっての身体活動は、自分自身の障害をさらけ出すことになると同時に、時には「



河西正博先生

新しく着任された先生から自己紹介

河西正博先生・高木俊先生

私 は 2013 年に東京医科大学大学院にて博士号を取得し、早稲田大学スポーツ科学術院で数年の教員生活を経て、この4月よりスポーツ健康科学部の助教として着任致しました。

専門は運動生理学で、呼吸ガス分析、近赤外分光法、超音波法、インピーダ



高木俊先生

できない自分」と向き合う経験になるかもしれません。障害者にとってどのような形でのスポーツ参加が、自身の障害を肯定的にとらえるきっかけとなり、生活をより豊かにしていくための手段となりうるのか、またその傍らにいる健常者とのような関係性をつくっていけばよいのかということについて、研究や実践から明らかにしていきたいと考えています。

学生たちには、障害者スポーツに関わる学び、各種実践を通じて、スポーツのもつ根源的な価値や、障害者のみならず多様な人々を結びつけるスポーツの可能性について考えてもらいたいと思います。

教員父母連絡会寄贈図書リスト

磐上館のラーニング・テリア(自習室)に常置します。

書籍名
「知・徳・体」を育む学校体育・スポーツの力
保健科教育法入門
イラストでみる組体操・組立体操
イラストと写真でみるマスゲーム
運動部活動の倫理と実践
運動部活動の教育学入門
明日からトライ! ダンスの授業
体操の授業
水泳の授業
中・高 器械運動の授業づくり
新しい剣道の授業づくり
新しい柔道の授業づくり
運動会をつくる
〔月刊誌〕教職課程
〔月刊誌〕教員養成セミナー
中学・高校陸上競技の学習指導
スポーツ障害のリハビリテーション 第2版
アンチエイジングシリーズ4 進化する運動科学の研究最前線
スポーツの経済と政策
スポーツの組織文化と産業
ライフスキル教育
ニューロメカロニクスー身体運動の科学的基盤ー

ンス法といった非侵襲的な(痛みや副作用のない)測定法を駆使して、ヒトの運動中における循環機能と代謝機能に関する研究を進めてきました。中高齢者・疾患患者を含む)における健康の維持増進や子どもの健全な発育発達、アスリートの競技力向上に対して循環機能・代謝機能の改善が非常に重要です。今後は運動中の循環・代謝に関する研究に加えて、運動・栄養・休養をキーワードに動脈硬化性疾患等の予防や競技力向上に資する研究を幅広く実

施していく予定です。

科学技術の進歩による不活動化に社会の高齢化も相まって、現代社会には健康に関連する様々な問題が引き起こされています。スポーツはその解決策として期待されており、今後もスポーツ健康科学に対する社会的ニーズは高揚していくと予想されます。学生たちがスポーツ健康科学を通じて社会に貢献できる人材に成長していけるように、可能な限りのサポートをしていきたいと思っています。

DO FIELD 15

DO-FIELD【ドゥ・フィールド】同志社大学スポーツ健康科学部教員父母連絡会報 第15号 2017年11月発行
[編集・発行] 同志社大学スポーツ健康科学部教員父母連絡会 〒610-0394 京田辺市多々羅都谷1-3 同志社大学スポーツ健康科学部事務室内
[デザイン] 柳原広行 (株式会社デザイン) [制作・印刷] 株式会社デザイン Tel.0774-65-6030 Fax.0774-65-6029 e-mail:jt-spoim@mail.doshisha.ac.jp